

# 学力向上に効果のある取組事例

豊後高田市立呉崎小学校

## ①基礎的・基本的な知識及び技能の習得

### 取組の具体①

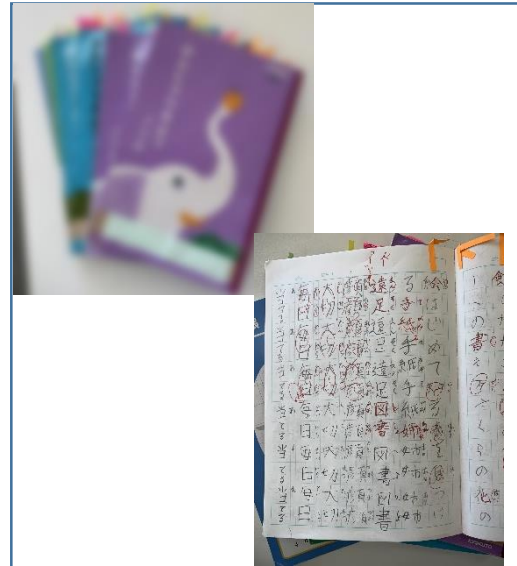
◆本校は、全校35名の小規模校であり、ひとり一人の基礎・基本の力を伸ばすことが、全体的な底上げにつながると考えている。そこで重点目標を「交流を通して、わかる・できる授業の充実」として以下の取組を実施した。

○「単元テスト(国語・算数)6割未満の児童を10%以下にする」達成指標の元、一人ひとりの単元テストの達成状況を把握し、個に応じた指導を理解するまで徹底して行った。

○算数では、授業の終わりに必ず、適用問題に取り組みさせ定着状況を確認してきた。ICTのドリルも活用した。

○国語では、漢字の読み書きのミニテストやまとめのテストで定着状況を確認してきた。

○間違ったところは付箋をつけて、できるようになるまで、繰り返し取り組ませた。



漢字ノートは付箋をつけて間違えたところをやり直している。

### 取組の具体②

○職員室前に「放課後の学習コーナー」を設け、子どもたちの自主的な放課後の学習をサポートしている。学習の困りができた児童は、職員室にいる教職員を呼び(職員室にいる全ての教職員が対応)、困りが解決できるまで指導をしている。全ての児童を全ての教職員で育てていくことを大切にしている。



放課後学習コーナーの様子

## 学力向上に効果のある取組事例

豊後高田市立呉崎小学校

## ④「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」の適切な設定

## 取組の具体①

○授業者は、国語・算数の授業において「ねらい」と「具体的な評価規準」が連動した授業を行ってきた。

○全職員で共通理解し板書の構造化もふくめて、「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を必ず行ってきた。特に、①全員が考えを持つ場「自分学びタイム」と②目的を明確にした交流活動「みんな学びタイム」を授業に位置づけた授業を行った。

○「振り返り」の際は、振り返る視点を明確にした「振り返りタイム」を3分間設定し、一人ひとり、めあてが達成できたかどうかを確認した。



1年 算数 交流活動  
「みんな学びタイム」

# 学力向上に効果のある取組事例

豊後高田市立呉崎小学校

## ⑧各教科の学習過程を踏まえたICTの活用

### 取組の具体①

○デジタル教科書の活用、ロイロノートの活用、タブレットを用いた宿題ではミライシードドリルパーク、まるぐらんどなどAIアプリを活用することにより、各児童の学習進度や個性に合わせた個別最適な学びを深めることができている。

○ロイロノートの活用により、学習の過程を容易に振り返ることができ、子ども同士が協働しながら、異なる考え方を組み合わせたり、新たな考えを発見したりすることが増えてきている。



ロイロノートを活用した  
交流活動

### 取組の具体②

○「協調学習が結ぶ自治体を超えた繋がり」事業の中で、豊後高田市、九重町、延岡市の各小規模校をZOOMでつなぎ、算数の遠隔授業を行った。小規模校では、子どもたち同士の学び合いも広がり欠けるところがあるが、ICTを活用した遠隔授業によって、普段とは異なる多様な考え方に触れることができた。



遠隔授業(協調学習)

## 学力向上に効果のある取組事例

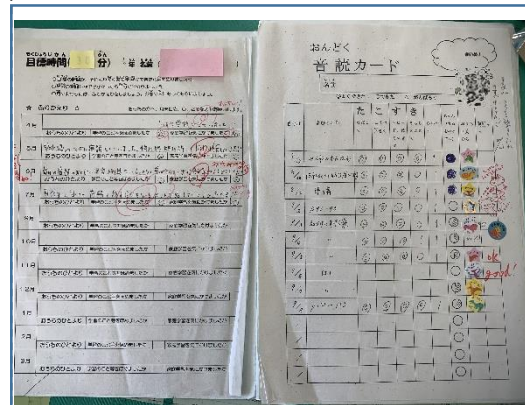
豊後高田市立呉崎小学校

## ⑩家庭学習の取組

## 取組の具体①

○全校統一の家庭学習カードで、毎日音読練習をさせている。同様に音読だけではなく、毎日の家庭学習の状況を、保護者に確認してもらっている。毎日の学習時間の設定、毎日の音読取組状況、月末の保護者コメント記入など、子どもだけではなく、保護者の意見も取り入れて、保護者も継続して取り組みやすいカードの形式に本年度変更した。

○4月当初の保護者会で家庭学習の取り組み方を周知し、家庭での学習の見守りをお願いしている。



家庭学習カード